

JA松任青年部

YOUTH SITE



【草刈り作業を行いました】

～西南支部宮保地区～

10月3日（日）、松陽小学校の愛校作業としてグラウンドの草刈りを行いました。石川地区青年部が同じような活動をしている事に触発され「俺達も母校に恩返しをしよう!」と盟友みんな一致団結!教頭先生やPTA役員の方々と協力して行いました。

当日は午前7時に集合。畑中地区長の勤務先である(有)安井ファームから草刈り機等を貸していただき、2時間ただひたすらに草を刈り続けました。教頭先生から聞いたところ、「コロナ禍の影響を受けての休校や各スポーツ団体活動・地域行事の中止によりグラウンドを使用する事が極端に減り、例年より雑草が生えまくっていると、存分に刈りがありました(笑)」

今後もこのような活動を通じて地元地域に貢献していきます!



【JA松任青年部

実績発表・青年の主張大会】

企画部会 本部



11月20日（土）、JA松任松南会議室において、令和3年度JA松任青年部実績発表・青年の主張大会を開催しました。JA松任青年部による実績発表と青年の主張は2地区の出場がありました。

※新型コロナウイルスのまん延防止を図り、人数制限や参加者の指定を行い例年の開催とは異なる形式での開催となりました。

JA松任執行部による審査結果は、以下のとおりです。

★最優秀賞

実績発表の部

林中地区

田村さん

青年の主張の部

石川地区

池下さん

実績発表の部

●最優秀賞

「伝統の復活と継承

その先に見えた光」

松南支部林中地区

発表者…田村 祐介さん





●最優秀賞 青年の主張の部

「おっちゃん地域未来と

青年組織」

西南支部石川地区

発表者…池下 孝生さん



なお、各部門の最優秀賞受賞の2地区については、令和4年1月に行われる石川県大会に出場予定となっています。

JA松任青年部委員長西本 豊より「それぞれ素晴らしい発表でした。地区の活動内容や盟友1人1人の想いが言葉になることで、より鮮明に記憶に残ることでしょう。各地区の代表においては今回の大会を通じて意識の共有や活力の向上へと繋げてもらい、青年部活動により一層精を出して頑張っていきましょう。」と挨拶しました。

進めよう!! 国消国産

国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産



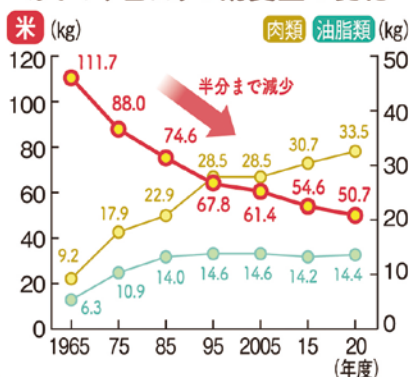
【今回のテーマ】

日本人がお米を食べなくなっているのは本当？

日本人の主食として欠かせない食材ですが、国民1人・1年当たりの消費量は、約50年で半分以上まで減っています。



米、肉類、油脂類の1人・1年当たりの消費量の変化



出典：農林水産省「食料需給表」2020年度
注：1人・1年当たり供給純食料を記載

ごはん茶碗1杯分(150g)で
摂取できる
同程度の栄養素

たんぱく質……牛乳111ml
脂質……食パン(8枚切り)約1/4枚
炭水化物(糖質)……ジャガイモ小3個
カルシウム……ごま油約0.4g
食物繊維……セロリ1/3本
ビタミンB1……キャベツ大1枚
鉄分……ほうれん草1~2枚

文部科学省「七訂日本食品標準成分表」
より算出による

お米の消費減少の原因は、食の多様化による主食の変化や朝食を抜くなどさまざまな理由が考えられる一方で、「太りそう」という誤解からもきています。

お米の糖質「でんぷん」は消化吸収の過程で血糖値の上昇を緩やかにし、体脂肪になりづらく、カロリーは脂質の半分程度であることから「太りにくい」という特徴があります。

お米を炊くのが面倒…という場合は無洗米やパックご飯なども活用して、国産米を食べて農家を応援し、国消国産を進めましょう。



耕そう、大地と地域の未来。